

「心の性別」

中札内中学校一年 石橋 紫央里

みなさんには心があると思います。たとえば、「たのしい」「うれしい」などです。

そんな色々なことを考え想う心ですが、そんな心にも「性別」があります。私はその心の性別について調べました。

く心の性別く

肉体上の性別と自分が意識する性別が一致しない状態の人のことを性同一性障害といわれます。その人も自分のことにいわかんをかんじるのは、ものごごろついた頃だそうです。

たとえば、体が女の子、心は男の子の場合だと、「私はジャージとかを着たいのに。スカートはもう着たくない」などのことでいわかんをかんじるそうです。あとは、人に「へん」とかを言われて「私は変なのかな」とかんじるそうです。それがいやで大人になったら、「性転換手術」をする人が多いそうです。それになにがいやだかというところ、人にいわれた言葉なんです。一度「へん」など言われてしまうと、「私はへんなのかな」と

一生なやんでしまします。でもそれって変じゃないです。みんな考えることもちがければ、感じることもちがうので、当たりまえなんです。それに二つの性がかならずしもかさなるなんて、親にも学校の先生も言いません。ですが、かさなることを当たりまえと考える人は少なくはないでしょう。けれども、みんなそう思っているだけで、変というわけではないです。少なくとも私はそう思います。きっと私みたいな思想の人がふえれば、みんなが生きやすくなる世界に近づくと思います。なのでみなさん、一度だけ自分の当たりまえについて考えてみませんか？